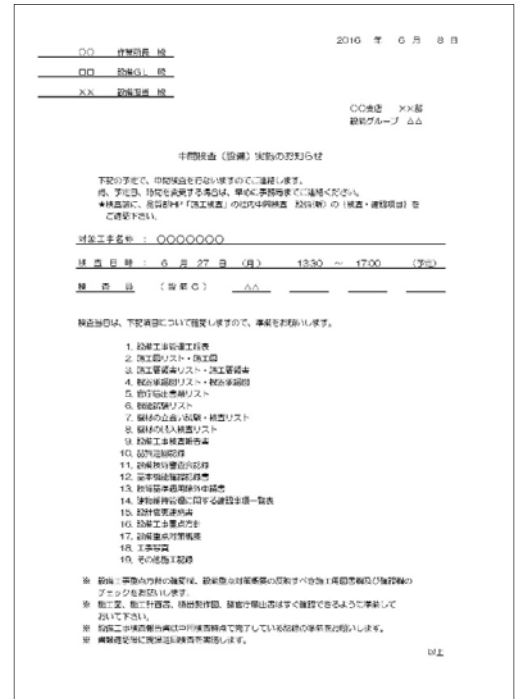


施工段階		中間検査		7	設備工事： 社内中間検査	シート番号 7-1		
電気	空調	衛生	その他					
○	○	○	—					

ポイント

1. 事前に検査項目を明確にして準備しましょう。
(例) ・ 工事工程
・ 施工図、施工計画書、施工要領書、機器承諾図
・ 諸官庁届出書類
・ 機能試験
・ 図面審査、巡回時の指摘に対する対応の確認
・ 設計変更確認
・ 施工自主検査、施工写真の確認
・ 現地施工状況
2. 施工管理状況のエビデンスを確認してもらいましょう。
(例) ・ 「施工管理状況の確認」が出来る図書
・ 上長、監理者、品質巡回時の巡回記録
・ 協力会社「施工チェック」書類
・ 機能検査、検査記録
・ 着工前審査会指摘事項の対応進捗
・ 設計変更記録（設計変更連絡書）
3. 壁、天井等により隠ぺいされる部分について対象としましょう。
4. 上記1～3についてレジュメを作成し関係者で共有しましょう。
5. 事前に協力会社の社内中間検査を実施しましょう。



中間検査レジュメ(例)

先輩アドバイス

1. 中間検査は部分的な竣工検査であると位置付け、関係者で共有しましょう。検査対象とするエリアを決めて、工事を完了させて検査を受けましょう。
2. 大きなプロジェクトでは段階的に複数回、実施することを検討しましょう。
3. 検査の準備という名目で、管理書類の進捗遅れの回復や協力会社の品質管理に対する意識や体制の見直しを図りましょう。



天井内施工状況

チェック項目

- 検査項目を明確に出来ていますか。
- 施工管理状況のエビデンスを準備していますか。
- 壁、天井等により隠ぺいされる部分について対象としましたか。
- ポイントの1～3についてレジュメを作成し共有しましたか。
- 事前に協力会社の社内中間検査を実施する計画となっていますか。

失敗すると...

1. 竣工検査時に不具合が発覚すると大きな手直し工事が発生します。
2. 間違った施工が潜在している場合に、その影響が大きくなります。

共通管理項目	合理化省力化	施工性向上	品質・性能向上	工期短縮・圧縮	コスト削減(材料)	コスト削減(労務)	設備先行工事	工事区分見直し	責任所在明確化
	○	—	○	—	○	○	—	—	○
備考	参考文献：						制定	2019年3月1日	
	参考メーカー：						改訂		